

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

ただいま議長より登壇の許可をいただきましたので、9番石橋敏伸の一般質問をさせていただきます。

今、WBCで「がんばろう！日本」の代表選手が三連覇に向けてのアメリカに行っています。三連覇を達成してもらいたいと思っております。

それでは初めに、環境問題についてお尋ねをいたします。

この春から突然に注目を浴びておりますPM2.5は、偏西風に乗って遠い中国から我が国に飛来しております、マスコミでも連日取り上げられているところです。NHK放送でも夕方のニュースでは、その日のPM2.5の数値をグラフ化して流し、日本国に喚起しておりますが、PM2.5の原因は、中国における急激な経済成長をもたらした工場からのばい煙、自動車の排気ガス、家庭での暖房用の石炭などによるものと報じられております。

かつて我が国においても、昭和40年代だったと思いますが、高度成長時代に環境悪化を招き、昭和45年7月に東京で光化学スモッグが発生し、同年11月に中央公害審議会が発足して環境対策に乗り出した経緯があります。

この結果、国民が環境問題に大きな関心を示すようになり、官民一体となって、さまざまな環境対策を講じられました。その結果、今ではきれいな空気、青い空を取り戻し、見事に公害を一掃することができており、公害という言葉も、今では日本においては死語となっており、その環境対策技術は今では世界に誇る日本の技術となっており、そのすぐれた技術は世界各国からも大変高い評価を得られているところと思っております。

しかし、当時、武雄市においても、この環境問題は大きな問題として取り上げられました。日本の高度成長時代は物資があふれるほど豊かになり、国民みんなが生活の中で豊かさを実感し、「消費は美德」という考えを浸透するようになってまいりました。その結果、物の使い捨て時代が到来し、ごみが増大し始めました。そのため、当時、市町村では、増大するごみの処分に追いつけず、家庭や事業所でのごみの焼却を推奨するようになり、家庭での焼却炉の設置を勧められておられたと思っております。

しかし、その後、焼却に伴うダイオキシンの発生が問題となり、市町村は一転して、家庭等でのごみ焼却中止を呼びかけ、焼却炉の廃止、解体を指導されるようになりました。その結果、今では焼却炉がある家庭はほとんど見受けなくなっておりますが、市内の幾つかの学校では使用しないで野ざらしになっている焼却炉が見受けられます。環境上も見た目にも異質でありますので、早急な対応が必要だと私は考えております。

それでは、最初にお尋ねをいたします。

学校を除く市内公共施設において、解体されないまま焼却炉が何基残っているのか、お示しをお願いいたします。

○議長（杉原豊喜君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

おはようございます。学校施設以外、市の管理施設におきましては、現在7基の焼却炉が残っております。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

公共施設、学校以外に7基ということですが、市内の学校では何基残っているか、お示しをお願いします。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

学校でございますけれども、小学校で5校、それから中学校で1校ということで、6基残っております。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

合わせて13基ですね。

稼働状況、今はどうなっているか、学校以外のほうからお願いしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

石橋まちづくり部長（発言する者あり）

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

廃棄物焼却炉の構造基準の改正が行われておりまして、特に平成13年3月の改正におきましては、800度以上の燃焼やバーナーなどの助燃装置を設けるなどの基準が定められまして、基準を満たさない焼却炉につきましては、平成14年12月以降使用できなくなっております。これらの流れを受けまして、市の設置していました焼却炉については使用をとめております。ただし、使用については焼却炉をいつまでに撤去という通達がなかったために現在残っているものでございます。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

そしたら、学校の施設ほうはどうなんですか、お願いします。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

学校につきましても現在使用はいたしておりません。使用いたしておりませんので、焼却炉のごみの投入口等につきましてもは施錠をしているという状況でございます。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

そしたら、今後解体計画はどのようになっているんですか、お尋ねをいたします。

○議長（杉原豊喜君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

いつ撤去するかにつきましては、ダイオキシン濃度の濃淡によっては高額になることも予想されるため、まだ費用をつかんでおりません。したがって、撤去する必要があるということは認識しておりますので、今後各部署において検討していきたいと思っております。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

そしたら、学校のほうもどうなんでしょうか。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

学校関係ですけれども、平成25年度中に学校の大規模の改修の予定をいたしております学校につきましては、山内の東小学校、西小学校、それから山内中学校、この3校につきましては、25年度に処理をいたすということで予定をいたしております。

以上です。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

静かに。静かにしてください。何をですか。（発言する者あり）

質問を続けてください。9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

大規模工事の中で、小学校、中学校で一緒ですけれども、今まで工事があっているときに処分したということでもありますが、西川登小学校はもう大規模工事も終了したところではありますが、見当たらん、場所が場所でしたので、ちょっと見当たらなかつたのかなと思っておりますが、解体するときの費用面は幾らぐらいになるか、お願いしたいと思っております。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

焼却炉につきましては、まずダイオキシンの濃度を調査するということが必要になってまいりますので、この調査に約50万円ほどかかるというふうになっております。その後、ダイオキシン濃度の濃淡にもよるといふふうに思いますけれども、そのほかに100万円から150万円というふうな経費がかかりますので、相当大きい金額になってくるというふうになっております。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

ダイオキシンの検査で50万円程度かかるということではありますが、（モニター使用）今これちょっと写してきたんですけども、深町式の焼却炉です。1メートルと立米にして1.3立米ぐらいの大きさであります。今まで解体された焼却炉の中でダイオキシンとかの濃度が基準をオーバーしたという事例があるかどうかお願いしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

濃度につきまして正確な記憶ございませんけれども、業者のほうに濃度の調査をいたしまして適切に処理をしたということでございますので、現在ではダイオキシンについては全くですね、その当時もですけども、飛散はしていないという状況でございます。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

今、ダイオキシンの濃度は基準よりもオーバーはしていないという返答であります。が、（モニター使用）今、このモニターに映していますけれども、これちょっとここにフックがあります。もしなかったら、ユニックかクレーンか持ってき、ぱっとつり上げて、素人考えですけども、持っていけるんだろうと思っておりますが、検査をする、絶対必要な検査が50万円はかかると、持ち出してそのまま埋め立てじゃいかんでしょうけれども、そういったことでしたら、幾らもかからないのかなと素人考えですけども、150万円も幾らもかかる焼却炉解体で13基となると相当にかかると思いますが、学校施設の中の焼却炉では、家庭で今まで私たちいけなかったんでしょうけれども、発泡スチロールとかいろんなものを燃やしてきたのが、家庭のほうは濃度的には大きかったんじゃないかと考えております。学校施設では紙等しか燃やしていないから大した今までのデータではなかったということだと思っております。25年度以降に解体をしていただくようによろしく願いしまして、次の質問に移りたいと思います。

それでは、次に、学校施設の管理についてのお尋ねでございます。

学校のグラウンドや体育館は学校側が使用されたときに一般に開放されているところですが、私たちのいる西川登においても平成8年には立派な体育館を整備していただきました。そして今度は、既存の校舎や耐震工事とあわせて、管理棟の新築工事や運動場の整備をしていただき町民一同大変喜んでいただいております。こうした学校の体育館や運動場は、児童が使用しないときには町民に広く開放していただき、町民運動会、卓球大会、ミニバレーボール大会等、グラウンドゴルフ大会やスポーツクラブの活用に利用されております。こうした学校施設の利用に当たりましては、大切な公共施設でございます。利用者はルールを守って、「来たときよりも美しく」をモットーに大事に使わせていただいておりますが、体育館や運動場の維持管理について、市の考えについてお尋ねをいたします。

最初に、学校の樹木や雑草等の管理はどのようなルールでなされているのか、お尋ねをいたします。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

学校の樹木等の管理でございますけれども、予算で委託料等を予算化しているわけですが、十分ではないというようなところもございます。そういったところで、学校の職員、あるいは育友会の皆様方の御協力を得て維持管理をやっているというのが現状でございます。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

グラウンド内の除草等の管理はどのようになっているか、お尋ねをいたします。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

学校のグラウンドにつきましても、先ほどの樹木の剪定等と同様でございますが、基本的には予算でということもございまして、グラウンドにつきましても常時使用をしているという状況もございまして、一定、雑草等については生えにくい状況にあるかというふうに考えております。雑草等出てきた場合には、学校の職員、あるいは夏場でありまして育友会の皆さんにお願いをしているというのが現状でございますので、各学校、そういった対応をしているというところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

町民運動会で小学校グラウンドを使用させてもらっているんですが、現況としてグラウンドの走路は草は生えにくいんですが、フィールド内の雑草が生えて町体協の第一イベントであります運動会としては大変見ばえが悪い状況であります。また、育友会の奉仕作業であります、少子化に伴い保護者も減少し、作業参加数も激減し、細かいところまで行き届かない状況にあると聞き及んでいるところであります。

ここで提案ですが、白岩体育館のほうにもあるような車両の後ろにつけてグラウンド整地ができる道具を、ま、各学校、中学校とかはクラブ活動とかなんかあって生徒が踏んづけて草も生えにくい状態ではありますが、小学校の生徒が100人ぐらいしかいない体育の授業でも大した運動場の幅を使わないので草が生えるんじゃないかなと思っておりますが、各学校にグラウンド整地ができる道具を配置できないものか、お尋ねをいたします。

○議長（杉原豊喜君）

古賀教育部長

○古賀教育部長〔登壇〕

町民体育大会等につきましては、町民の皆様が参加をされるというようなこともございますので、できれば地域の皆様に御協力をいただいて、そういった雑草等の処理をお願いしたいというふうに考えておりますけれども、今、御指摘ございましたとおり、（モニター使用）写真のほうを見ていただきますと、軽トラックでですね、これランニングマットというものなんですけれども、金属できておまして非常に重いということで、これをトラック等で引っ張って雑草を根こそぎとるといような機械でございますけれども、これにつきましては、現在北方のグラウンドにございます。

それから、もう1つが、スポーツトラクター（モニター使用）というのが白岩のグラウンドと山内のグラウンドにございます。これも先ほどのランニングマット等を引っ張るといようなことで雑草を刈っているわけですし、これに機械、道具をつけまして、そういったものを刈っているという状況でございます。

ただいま御指摘は、各学校に、先ほど言いました、こういうランニングマット等が配置できないかということでございますけれども、各学校におきましても、何と申しますか、金額的にもかなりかかるものですから、北方のグラウンドでありますとか、それから白岩のグラウンド、山内のグラウンドにありますものを有効に利用できないかということで考えておまして、共用をできないか考えてみたいというふうに考えております。

○議長（杉原豊喜君）

9番石橋議員

○9番（石橋敏伸君）〔登壇〕

町のほうでもいろんな整地用の、自分たちでつくってやっているんですけども、なかなか1人は抱え得ないような重たさもありますが、これちょっと体育館のほうで抱えてみた

んですけれども、1人で何とか抱えきるようなマットであります。これを白岩体育館まで行ってお借りして、また返してということよりも、値段が張ると思いますが18万円か19万円ぐらいと思いますが、検討をしていただきたい。本当にちっちゃい草だったら、今部長がおっしゃったようにとれていくやろうと思うとですけれども、夏休みの間とか、誰も運動場を使わない状態では雑草が本当にもう5センチ、10センチぐらいなっていました、去年はですね。だから、こういったものが身近にあれば町民の皆さんたちでも、先生方だって時間があいたときにはできるんじゃないかなと思って要望をいたしておりますが、今後考えていただいて、各学校に配置をお願いしておきたいと思います。

早いですけれども、以上で一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（杉原豊喜君）

以上で9番石橋議員の質問を終了させていただきます。